

総務教育常任委員会資料

(令和5年10月11日)

【件名】

- ・鳥取県立まなびの森学園設置式等について (小中学校課) …… 2
- ・令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について (いじめ・不登校総合対策センター) …… 3
- ・鳥取県立美術館の開館時間や利用料金等の検討状況について (美術館整備課) …… 21

教育委員会

鳥取県立まなびの森学園設置式等について

令和5年10月11日
小 中 学 校 課

令和5年10月1日に本県初の県立中学校である夜間中学「鳥取県立まなびの森学園」が設置され、同日に、市町村教育委員会や地域の関係者等を招いて設置式等を開催しましたので報告します。

併せて、校歌制作者を発表しましたので報告します。

1 鳥取県立まなびの森学園の設置

令和5年10月1日 設置

令和5年9月30日限りで小中学校課内の県立夜間中学設置準備室を廃止

校長には、前県立夜間中学設置準備室長・山口京子が着任

2 設置式等概要

(1) 日時・会場

令和5年10月1日(日)午前10時から午前11時15分まで

鳥取県教育センター大研修室及び鳥取県立まなびの森学園(鳥取市湖山町北5丁目201、202)

(2) 当日次第

・設置式 10:00~10:40(会場:県教育センター大研修室)

・校名板設置 10:50~11:00(会場:まなびの森学園)

・校舎見学 11:00~11:15(会場:まなびの森学園)

(3) 出席者 計25名

教育長、教育委員、市町村教育委員会教育長等、学校周辺地区自治会長、

県立夜間中学設置準備等に係る懇談会委員 等

3 校歌制作者の発表

杏沙子 氏 鳥取県出身シンガーソングライター

<経歴> 2016年 初のオリジナル曲「道」を発表し、本格的に音楽活動をスタート。

2022年 フリーランスでの活動を発表。

2023年4月~「とっとりラジオハイスクール!」(NHK鳥取ラジオ番組)の校長先生として出演中。

8月31日には母校鳥取西高等学校祭でラジオ公開録音と生ライブを実施。

校歌完成は12月中旬頃を予定

4 学校設置後の主な予定

10月 2日(月) 入学者募集開始(12月28日(木)まで)

10月 6日(金)~ 学校説明会・体験授業会

10月 6日(金) 岩美町中央公民館

10月13日(金) 江府町役場

11月 2日(木) 倉吉交流プラザ・県立美術館

11月29日(水) 伯耆町溝口公民館

12月12日(火) 米子市ふれあいの里

体験授業会・入学希望者相談会

10月27日(金) まなびの森学園

11月17日(金) まなびの森学園

10月24日(火) 県教育委員会・市町村夜間中学担当課連絡協議会

11月 6日(月) 第2回県立夜間中学設置準備等に係る懇談会

令和6年4月 開校式・入学式

令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について

令和5年10月11日

いじめ・不登校総合対策センター

令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果が10月4日に文部科学省から公表され、本県の調査結果の概要は次のとおりでした。この結果を受け、不登校やいじめ、暴力行為等、様々な困り感を抱えた児童生徒の理解に基づいた支援の充実を目指して次のような取組を進めますので調査結果とともに報告します。

1 令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について

(1) 調査結果

暴力行為

()内の数字は、R3年度数値

校種	発生件数(件)	1,000人あたりの発生件数(件)	
	鳥取県(国公立)	鳥取県(国公立)	全国(国公立)
小学校	484(490)	17.1(17.2)	9.9(7.7)
中学校	331(227)	22.9(15.6)	9.2(7.5)
高等学校	37(44)	2.6(3.0)	1.3(1.2)

- ・全校種において1,000人あたりの発生件数は、全国平均を上回っている。
- ・鳥取県における暴力行為の発生件数は、中学校において過去5年間で最多であり、小学校、高等学校においては発生件数は昨年度より減少した。

いじめ

()内の数字は、R3年度数値

校種	認知件数(件)	1,000人あたりの認知件数(件)	
	鳥取県(国公立)	鳥取県(国公立)	全国(国公立)
小学校	1,321(1,363)	46.8(47.7)	89.1(79.9)
中学校	434(377)	30.0(25.8)	34.3(30.0)
高等学校	54(38)	3.8(2.6)	4.9(4.7)
特別支援学校	42(11)	54.5(14.2)	20.7(18.4)

- ・小・中・高等学校において1,000人あたりの認知件数は、全国平均を下回っている。
- ・いじめの認知件数は、小学校を除くすべての校種で増加した。

不登校

()内の数字は、R3年度数値

校種	不登校児童生徒数(人)	100人あたりの不登校児童生徒数(人)	
	鳥取県(国公立)	鳥取県(国公立)	全国(国公立)
小学校	492(400)	1.74(1.40)	1.70(1.30)
中学校	877(653)	6.06(4.48)	5.98(5.00)
高等学校	301(283)	2.14(1.98)	2.04(1.69)

- ・全校種において100人あたりの不登校児童生徒数は、全国平均を上回っている。
- ・鳥取県における不登校出現率はすべての校種で平成21年度以降過去最高である。

2 調査結果の分析及び考察

- 新型コロナウイルス感染症の影響によって学校や家庭における生活環境が大きく変化し、児童生徒にも影響を与えている。特に発達段階の過程で、児童生徒の自主性が出始める小学校高学年及び中学校1、2年生への強い影響が考えられる。
- 部活動や学校行事等の様々な活動が再開されたことにより接触機会が増加したことで、生徒間のトラブルが増加した。
- 学校組織において困り感を抱える児童生徒の要因・背景の見立てる力が向上したことで、児童生徒の状況が改善した例もあるが、更なる見立てる力の向上が必要だと考える。

【暴力行為】

- ・軽くぶつかるなどの軽微な行為も暴力行為として捉え、丁寧に対応するよう市町村教育委員会及び学校に依頼しており、そのような行為を積極的に暴力行為として計上している。

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による学校教育活動の制限などがコミュニケーション力の不足に繋が
り、自身の思いを上手く表現できず暴力行為に繋がっている。
- ・同じ児童生徒が暴力行為を繰り返す傾向もみられる。

【いじめ】

- ・校種の変わり目である中学1年、高校1年でのいじめの認知件数が増加(中1:57件、高1:23件)して
おり、暴力行為の発生と関係もある。
- ・いじめ発見のきっかけにおいて、本人または保護者からの訴えの割合が全国より多い要因として児童生
徒と教員との関係が良好で相談しやすい状況にあることが考えられる。

【不登校】

- ・今まで登校渋りの傾向が見られた児童生徒が、新型コロナウイルス感染症に伴う欠席や登校自粛、休校
等により、より一層学校から離れてしまったことが原因で欠席数が増加した。
- ・「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」の趣旨が浸透してきた
ことにより、保護者や児童生徒の学校に対する意識が変化してきたことも増加の背景として考えられ
る。
- ・年度初めの「仲間づくり活動(部活動の開始含む)」が新型コロナウイルス感染症の影響で制限ある活動
になった。 中学校1年の新規不登校の増加

3 現在の主な取組及び実績・成果等

学校の魅力アップ事業

- ・県と市町村教育委員会とで行う「いじめ・不登校等対策連携会議」にスーパーバイザーを招聘し、各市町
村における不登校支援等の取組や課題を共有するとともに、研修を行った。

市町村教育委員会担当者の困り感を抱える児童生徒の要因・背景を見立てる力を向上させることにより、
学校への指導・助言に繋がった。

- ・市町村が設定する課題に取り組む学校に市町村アドバイザーを派遣し校内研修等を行った。

課題に取り組む学校で暴力行為が、令和4年度は前年度に比べ15件減少。

課題に取り組む学校で新規不登校児童生徒数が、令和4年度は前年度に比べ12人減少。

○校内サポート教室の設置(令和5年度:県内10中学校)

- ・通常の学級での学習等や集団での生活が困難となった生徒が自分のペースで安心して過ごし、支援を受け
ることができる特別の教室を開設する。

不登校生徒の教室復帰のみを目的としない居場所の確保(R3:27名、R4:35名利用)

支援員との関わりにより希望する高校に進学することができるなど、好転する生徒が多い

○学校生活適応支援員の配置

- ・不登校傾向の児童への家庭訪問による支援や児童の話し相手、家庭・地域と学校との連携の支援
家庭訪問を行ったり、児童と遊ぶなど様々な活動をしたりすることで、学校への登校が増えた。

○子どもを支える学校外の支援者との連携体制の構築

- ・県教育支援センターと市町村設置の教育支援センター・県内フリースクール・不登校親の会等との連携を
進め、不登校支援に係る情報をより多くの支援者・保護者に届ける研修会や情報交換会等の取組を行う。

東中西部の各地域で合同連絡会を開催し、支援の好事例等の情報共有及び意見交換等を行った(8月)

○いじめの未然防止や適切な初期対応につなげる取組

- ・県内全校種の生徒指導担当教員等を対象として、「いじめ防止対策推進法」に則ったいじめ問題への対応
について悉皆によるいじめ問題に関する行政説明会を行う。

各学校において、校内研修として全職員で視聴したり、職員会議で共有したりしたことで、教職員の理
解や意識の向上につなげた。

○保護者支援に関する取組

- ・県内教育支援センター及びフリースクール等の支援者、教職員、保護者を対象に「子どもの育ちを支え
るセミナー」を実施し、児童生徒の社会的自立に向けた支援の仕方、関わり方を学ぶ。

「親子のコミュニケーションについて」をテーマに開催(10月開催予定)

○一人一台端末を活用した「気持ちメーター」による児童生徒の心の状況の把握

- ・教員が想定していなかった子どものSOSに気づくことができ、即時に教職員間の共有もできる。

4 今後の取組〔現在の取組に加えて〕(来年度当初予算編成の中で検討)

○学校の魅力アップ事業の拡充

市町村アドバイザーによる研修時間、研修回数を拡充し、県及び市町村内での横展開を図る。

○不登校児童生徒等への支援

- ・校内サポート教室(中学校)及び学校生活適応支援員(小学校)の充実
- ・社会教育施設や地域人材を活用した不登校児童生徒の居場所支援、学習支援
- ・県教育支援センター機能を活用した支援
自宅学習支援事業の市町村への展開
出張ハートフルスペースによる要支援者への支援及び関係機関への繋ぎ

○いじめの未然防止や適切な初期対応につなげる取組

- ・いじめ問題に関する行政説明会(悉皆)の継続実施
- ・市町村教育委員会や県教育委員会事務局内の連携強化
- ・鳥取県いじめ対応マニュアルの改訂及び再周知
- ・いじめの未然防止を含む児童生徒の自己肯定感を高める取組

○保護者支援に関する取組

- ・困り感を抱える保護者への相談窓口の周知(子ども家庭部との連携)
- ・新設する学校教育ポータルサイトへのいじめや教育相談等に関する相談窓口の掲載

○児童生徒理解の推進に係る取組

- ・一人一台端末を活用した「気持ちメーター」による児童生徒の心の状況の把握の継続
- ・全国学力・学習状況調査及びとっとり学力・学習状況調査の教育データの活用
- ・特別支援教育の推進及び特別支援学校センター的機能の活用促進
- ・教職員への研修(授業、学級経営、配慮が必要な児童生徒への関わり等)

令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する
調査結果について

鳥取県教育委員会

令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査 結果における鳥取県の状況について（概要）

1 暴力行為の発生件数

- (1) 国公立小・中・高等学校の合計は852件、1,000人当たりの発生件数は14.9件で、前年度と比較すると91件増加、1,000人当たりの発生件数は1.7件上昇した。1,000人当たりの発生件数は、全国平均の7.5件を上回った。
- (2) 校種別に前年度と比較すると、小学校では484件で6件減少、中学校では331件で104件増加、高等学校では37件で7件減少した。
- (3) 中学校では発生件数、1,000人当たりの発生件数とも増加している。小学校、高等学校では発生件数、1,000人当たりの発生件数とも減少した。
- (4) いずれの校種においても「生徒間暴力」の割合が高い。

2 いじめの認知件数

- (1) 国公立小・中・高等学校・特別支援学校の合計は1,851件、1,000人当たりの認知件数は32.0件で、前年度と比較すると62件増加、1,000人当たりの認知件数も1.4件増加した。1,000人当たりの認知件数は全国平均の53.3件を下回った。（全国平均との差 R2:0.6件、R3:17.1件、R4:21.3件）。
- (2) 校種別に前年度と比較すると、小学校では1,321件で42件の減少、中学校では434件で57件の増加、高等学校では54件で16件の増加、特別支援学校では42件で31件の増加であり、小学校以外のすべての校種で増加している。
- (3) 「いじめが解消しているもの」の認知件数に対する割合は75.6%で全国平均の77.1%を下回っている。
- (4) いじめ発見のきっかけについて、「学校の教職員等が発見」が51.4%で全国平均の63.8%を下回っており、「学校の教職員以外からの情報により発見」が48.6%で全国平均の36.2%を上回っている。
- (5) アンケート実施状況は98.3%で、全国平均の97.2%を上回った。

3 不登校児童生徒数

- (1) 国公立小・中・高等学校の合計は1,670人で、前年度と比較すると334人増加している。
- (2) 校種別に前年度と比較すると、小学校では492人で92人増加、中学校では877人で224人増加、高等学校では301人で18人の増加だった。100人当たりの不登校児童生徒数は、小学校が1.74人で0.34人の上昇、中学校が6.06人で1.58人の上昇、高等学校が2.14人で0.16人上昇した。
- (3) 小・中学校の不登校児童生徒数の上昇を全国平均と比較すると、小学校では全国平均で前年度から0.40人の上昇に対し県で0.34人の上昇、中学校では全国平均で前年度から0.98人の上昇に対し県で1.58人の上昇であり、中学校で全国平均より出現率の上昇率が高くなっている。

4 長期欠席

- (1) 国公立私立小学校は 860 人で、前年度と比較すると 239 人増加、中学校は 1,202 人で 286 人増加している。
- (2) 100 人当たりの出現率は、小学校では 3.04 (全国平均は 3.17)、中学校では 8.30 (全国平均は 8.13) である。令和 2 年度から長期欠席者数には、新型コロナウイルス感染症回避による欠席者も含まれている。

5 中途退学

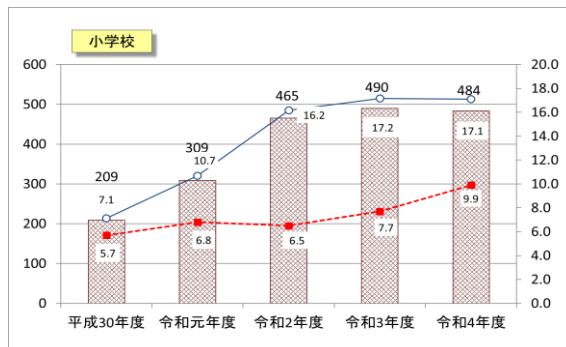
- (1) 国公立私立高等学校の合計は 183 人で、前年度と比較すると 64 人増加している。
- (2) 中途退学理由は、「進路変更」が 33.9%と最も高く、次いで「学校不適合」30.6%、「問題行動」10.4%となっている。

暴力行為

国公立小・中・高等学校(全日制・定時制・通信制)における暴力行為の年次推移
(H30年度～R4年度)

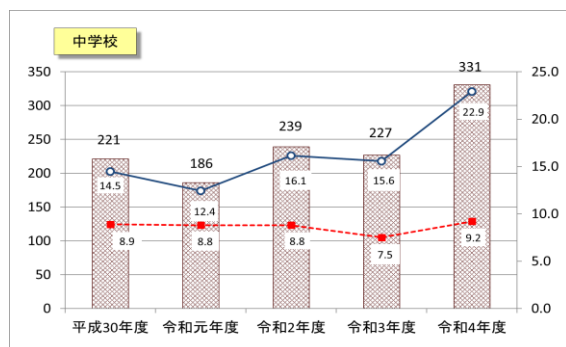
(1) 小学校 (件)

区分	発生件数			1,000人あたりの発生件数		
	鳥取県 (国公立)	鳥取県 (国公立)	全国 (国公立)	鳥取県 (国公立)	鳥取県 (国公立)	全国 (国公立)
平成30年度	209	7.1	5.7	7.1	7.1	5.7
令和元年度	309	10.7	6.8	10.7	10.7	6.8
令和2年度	465	16.2	6.5	16.2	16.2	6.5
令和3年度	490	17.2	7.7	17.2	17.2	7.7
令和4年度	484	17.1	9.9	17.1	17.1	9.9



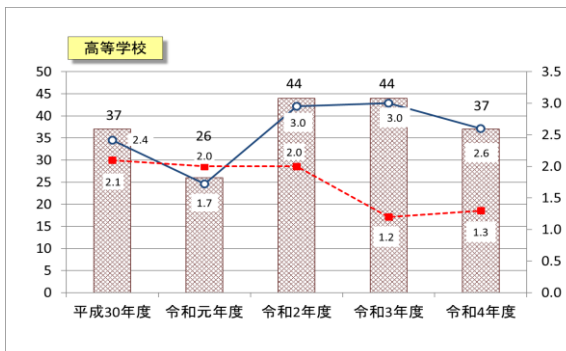
(2) 中学校 (件)

区分	発生件数			1,000人あたりの発生件数		
	鳥取県 (国公立)	鳥取県 (国公立)	全国 (国公立)	鳥取県 (国公立)	鳥取県 (国公立)	全国 (国公立)
平成30年度	221	14.5	8.9	14.5	14.5	8.9
令和元年度	186	12.4	8.8	12.4	12.4	8.8
令和2年度	239	16.1	8.8	16.1	16.1	8.8
令和3年度	227	15.6	7.5	15.6	15.6	7.5
令和4年度	331	22.9	9.2	22.9	22.9	9.2



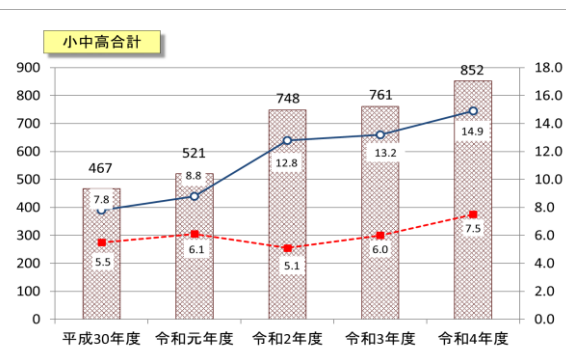
(3) 高等学校 (件)

区分	発生件数			1,000人あたりの発生件数		
	鳥取県 (国公立)	鳥取県 (国公立)	全国 (国公立)	鳥取県 (国公立)	鳥取県 (国公立)	全国 (国公立)
平成30年度	37	2.4	2.1	2.4	2.4	2.1
令和元年度	26	1.7	2.0	1.7	1.7	2.0
令和2年度	44	3.0	2.0	3.0	3.0	2.0
令和3年度	44	3.0	1.2	3.0	3.0	1.2
令和4年度	37	2.6	1.3	2.6	2.6	1.3

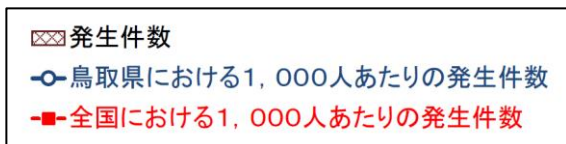


(4) 小中高合計 (件)

区分	発生件数			1,000人あたりの発生件数		
	鳥取県 (国公立)	鳥取県 (国公立)	全国 (国公立)	鳥取県 (国公立)	鳥取県 (国公立)	全国 (国公立)
平成30年度	467	7.8	5.5	7.8	7.8	5.5
令和元年度	521	8.8	6.1	8.8	8.8	6.1
令和2年度	748	12.8	5.1	12.8	12.8	5.1
令和3年度	761	13.2	6.0	13.2	13.2	6.0
令和4年度	852	14.9	7.5	14.9	14.9	7.5



- ・鳥取県における暴力行為の発生件数は、中学校において過去5年間で最多であり、小学校、高等学校においては発生件数は昨年度より減少した。
- ・1,000人あたりの発生件数は、どの校種においても全国平均を上回っている。

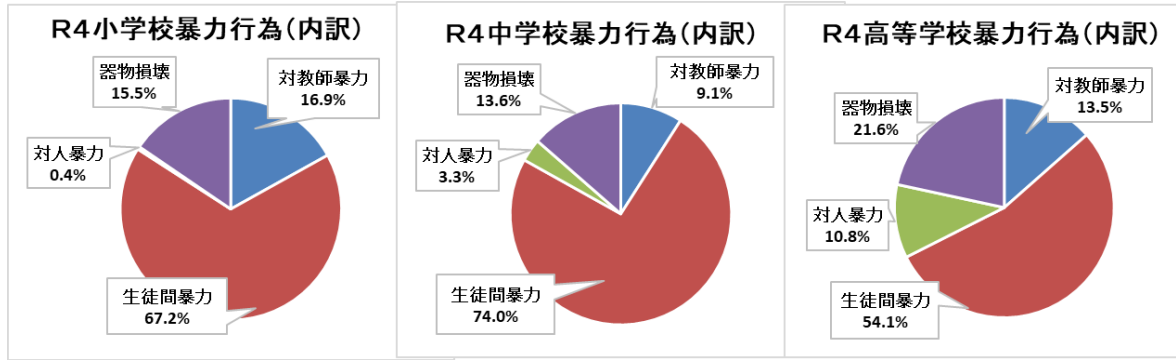


令和4年度 暴力行為の状況について

○ 鳥取県における暴力行為の発生件数（国公立）

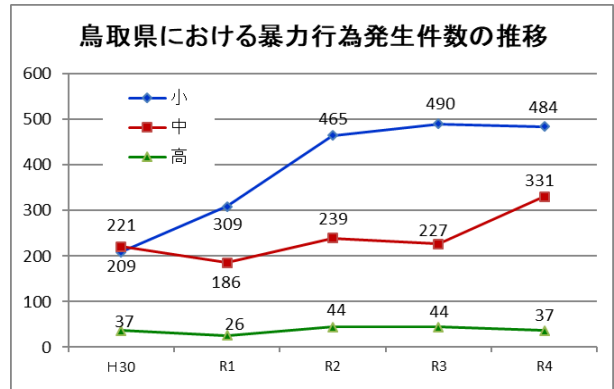
【概要】

- 小学校（R4）：発生件数は484件で、前年度（490件）より6件減少
- 中学校（R4）：発生件数は331件で、前年度（227件）より104件増加
- 高等学校（R4）：発生件数は37件で、前年度（44件）より7件減少

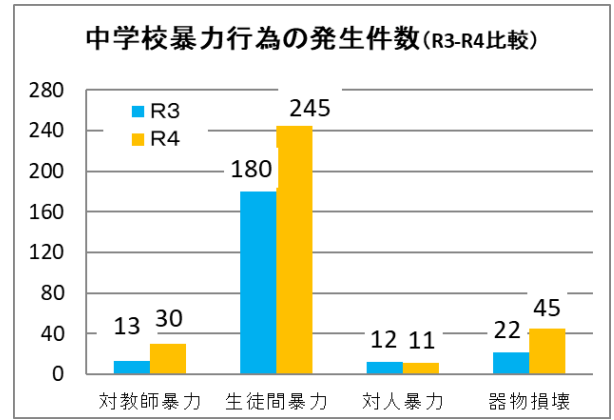
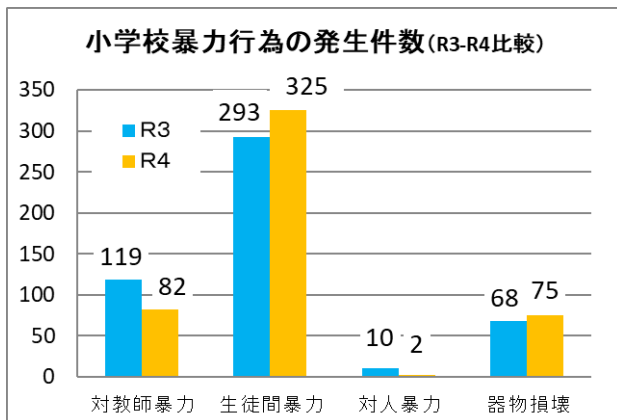


【鳥取県の暴力行為発生件数の推移】（国公立）

暴力行為(件)		H30	R1	R2	R3	R4
鳥取県	小	209	309	465	490	484
	中	221	186	239	227	331
	高	37	26	44	44	37
	計	467	521	748	761	852
	発生件数/千人	7.8	8.8	12.8	13.2	14.9
全国	発生件数/千人	5.5	6.1	5.1	6	7.5



【項目別発生件数】（国公立）



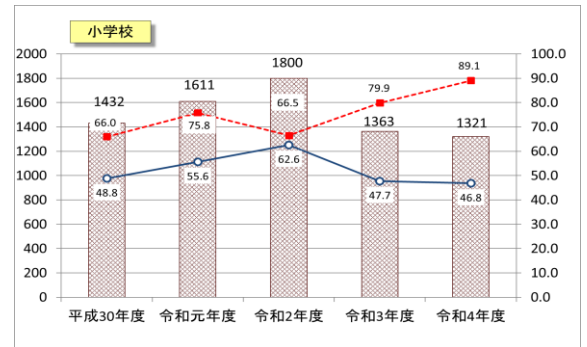
- ・ 小学校では、対教師暴力と対人暴力が減少し、生徒間暴力と器物損壊が増加した。
- ・ 中学校では、対人暴力以外の3項目が増加した。
- ・ 高等学校における暴力行為の発生件数は減少した。
- ・ 積極的ないじめの認知に伴い、生徒同士の些細なトラブルの段階から生徒間暴力として報告されているため発生件数が多くなっている。また、同じ児童生徒が暴力行為を繰り返す傾向もある。

いじめ

国公立小・中・高等学校(全日制・定時制・通信制)・特別支援学校におけるいじめの認知件数等の年次推移(H30年度～R4年度)

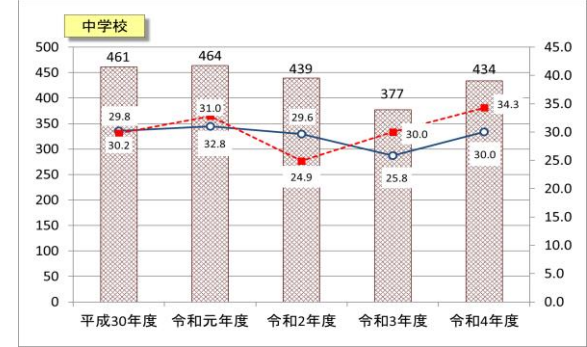
(1) 小学校 (件)

区分	認知件数		1,000人あたりの認知件数
	鳥取県 (国公立)	鳥取県 (国公立)	全国 (国公立)
平成30年度	1432	48.8	66.0
令和元年度	1611	55.6	75.8
令和2年度	1800	62.6	66.5
令和3年度	1363	47.7	79.9
令和4年度	1321	46.8	89.1



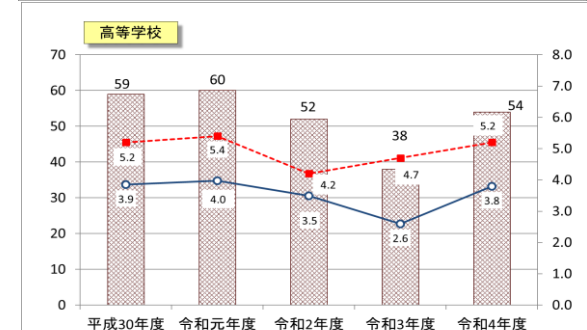
(2) 中学校 (件)

区分	認知件数		1,000人あたりの認知件数
	鳥取県 (国公立)	鳥取県 (国公立)	全国 (国公立)
平成30年度	461	30.2	29.8
令和元年度	464	32.8	32.8
令和2年度	439	29.6	24.9
令和3年度	377	25.8	30.0
令和4年度	434	30.0	34.3



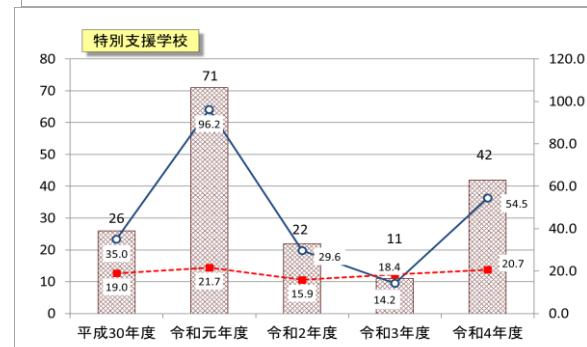
(3) 高等学校 (件)

区分	認知件数		1,000人あたりの認知件数
	鳥取県 (国公立)	鳥取県 (国公立)	全国 (国公立)
平成30年度	59	3.9	5.2
令和元年度	60	4.0	5.4
令和2年度	52	3.5	4.2
令和3年度	38	2.6	4.7
令和4年度	54	3.8	4.9



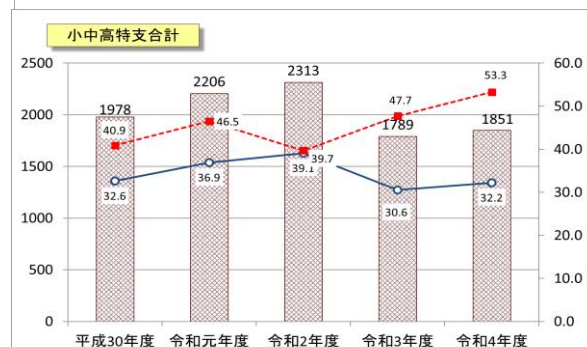
(4) 特別支援学校 (件)

区分	認知件数		1,000人あたりの認知件数
	鳥取県 (国公立)	鳥取県 (国公立)	全国 (国公立)
平成30年度	26	35.0	19.0
令和元年度	71	96.2	21.7
令和2年度	22	29.6	15.9
令和3年度	11	14.2	18.4
令和4年度	42	54.5	20.7

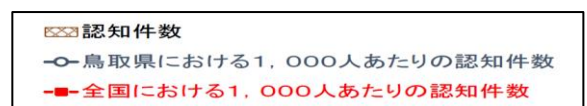


(5) 小中高特支合計 (件)

区分	認知件数		1,000人あたりの認知件数
	鳥取県 (国公立)	鳥取県 (国公立)	全国 (国公立)
平成30年度	1978	40.9	32.6
令和元年度	2206	36.9	46.5
令和2年度	2313	39.1	39.7
令和3年度	1789	30.6	47.7
令和4年度	1851	32.0	53.3



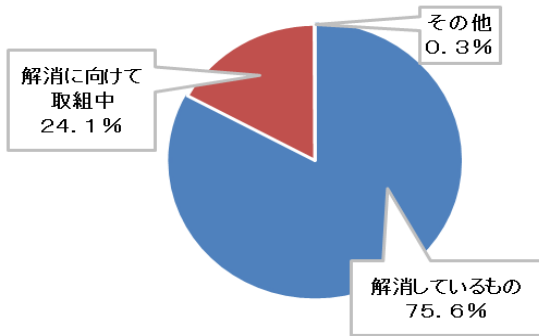
・いじめの認知件数は、小学校を除く、すべての校種で増加した。



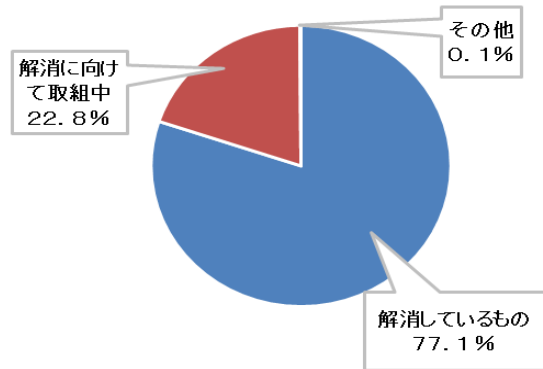
令和4年度いじめの状況について

1 いじめの現在の状況(国公立)

R4 いじめの現在の状況(鳥取県)



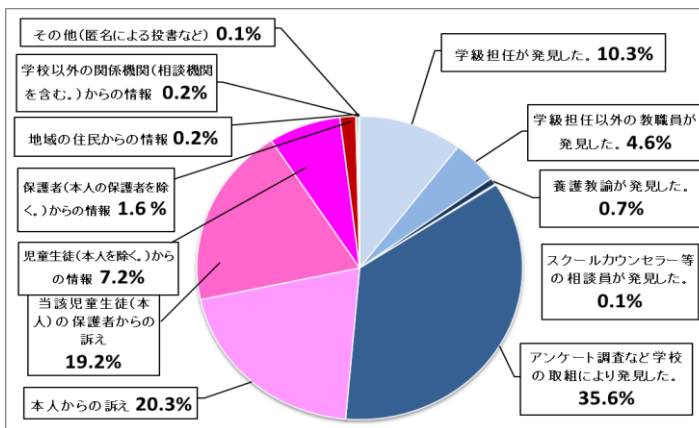
R4 いじめの現在の状況(全国)



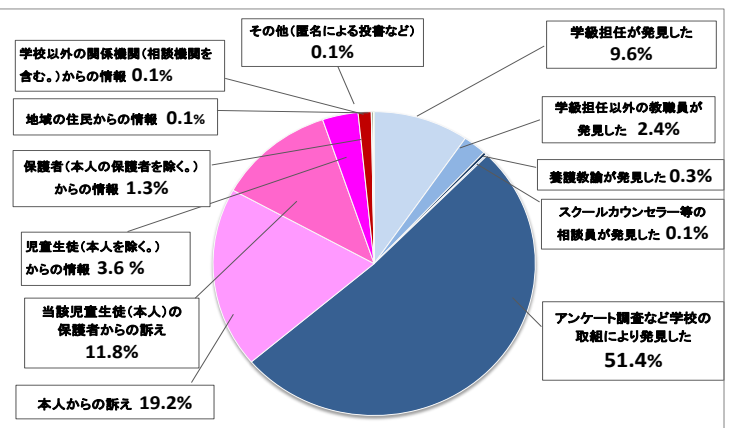
・鳥取県における「いじめの解消率(75.6%)」は、全国(77.1%)と比較して、低くなっている。

2 いじめ発見のきっかけ(国公立)

R4いじめ発見のきっかけ(鳥取県)



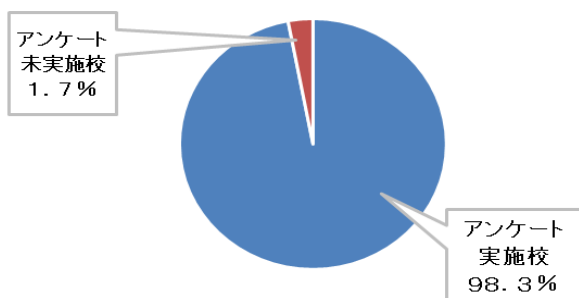
R4いじめ発見のきっかけ(全国)



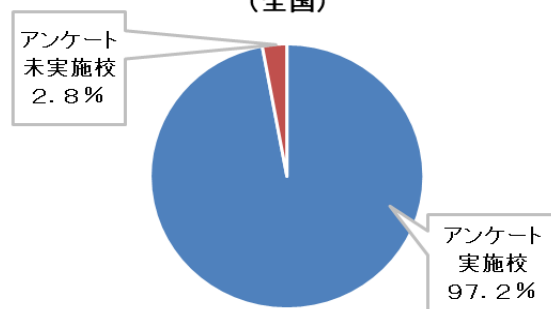
- ・鳥取県における「いじめ発見のきっかけ」は、「アンケート調査などの学校の取組」によるものが、昨年度同様最も多かった。(昨年度35.7%)
- ・本人からの訴え、当該児童生徒(本人)の保護者からの訴えによりいじめを発見するケースが全国より多いのは、教員との関係がよく、相談しやすい状況にあることが考えられる。
- ・全国における「いじめ発見のきっかけ」は、昨年同様半数以上が「アンケート調査など学校の取組」によるものである。

3 アンケート調査実施状況(国公立)

R4いじめ発見に係るアンケート調査の実施(鳥取県)



R4いじめ発見に係るアンケート調査の実施(全国)



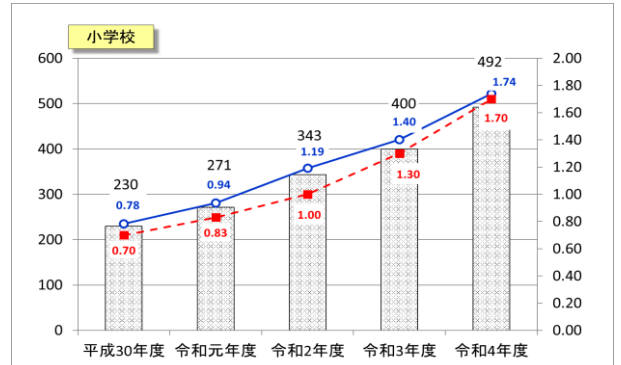
・鳥取県におけるアンケート実施校の割合は、R2(95.7%)、R3(97.0%)を上回る98.3%で、全国の割合も上回った。

不登校

国公立小・中・高等学校(全日制・定時制)における不登校児童生徒数等の年次推移
(H30年度～R4年度)

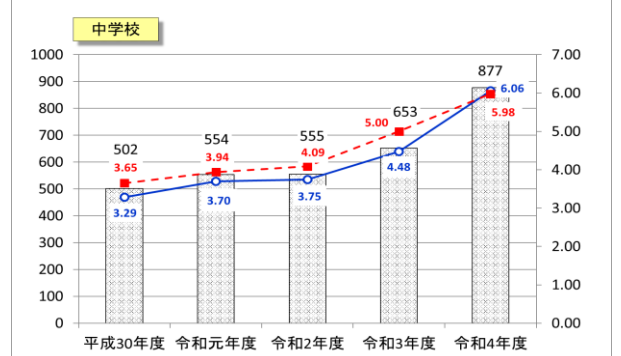
(1) 小学校 (人)

区分	不登校児童数		100人あたりの不登校児童数
	鳥取県 (国公立)	鳥取県 (国公立)	全国 (国公立)
平成30年度	230	0.78	0.70
令和元年度	271	0.94	0.83
令和2年度	343	1.19	1.00
令和3年度	400	1.40	1.30
令和4年度	492	1.74	1.70



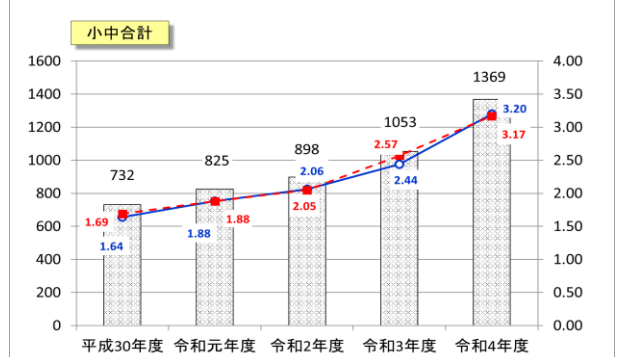
(2) 中学校 (人)

区分	不登校生徒数		100人あたりの不登校生徒数
	鳥取県 (国公立)	鳥取県 (国公立)	全国 (国公立)
平成30年度	502	3.29	3.65
令和元年度	554	3.70	3.94
令和2年度	555	3.75	4.09
令和3年度	653	4.48	5.00
令和4年度	877	6.06	5.98



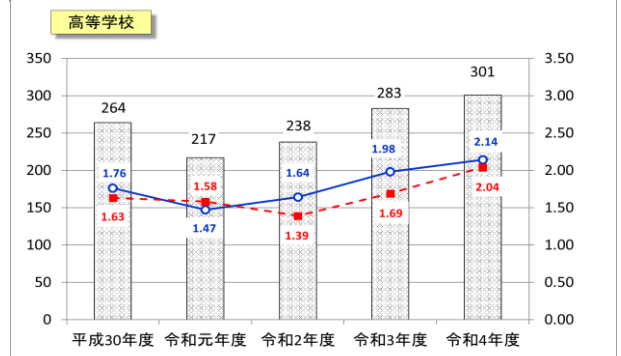
(3) 小中合計 (人)

区分	不登校児童生徒数		100人あたりの不登校児童生徒数
	鳥取県 (国公立)	鳥取県 (国公立)	全国 (国公立)
平成30年度	732	1.64	1.69
令和元年度	825	1.88	1.88
令和2年度	898	2.06	2.05
令和3年度	1053	2.44	2.57
令和4年度	1369	3.20	3.17



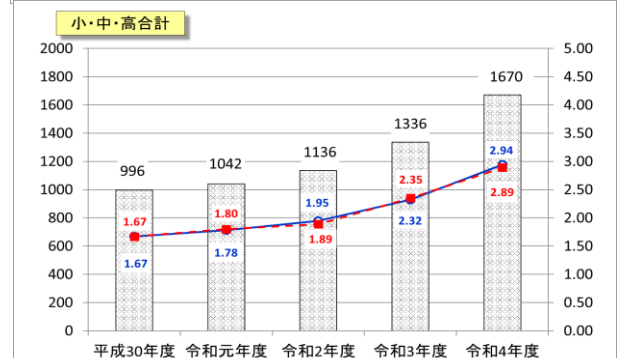
(4) 高等学校 (人)

区分	不登校生徒数		100人あたりの不登校生徒数
	鳥取県 (国公立)	鳥取県 (国公立)	全国 (国公立)
平成30年度	264	1.76	1.63
令和元年度	217	1.58	1.47
令和2年度	238	1.64	1.39
令和3年度	283	1.98	1.69
令和4年度	301	2.14	2.04



(5) 小・中・高合計 (人)

区分	不登校生徒数		100人あたりの不登校生徒数
	鳥取県 (国公立)	鳥取県 (国公立)	全国 (国公立)
平成30年度	996	1.67	1.67
令和元年度	1042	1.78	1.80
令和2年度	1136	1.95	1.89
令和3年度	1336	2.32	2.35
令和4年度	1670	2.94	2.89



・鳥取県における不登校出現率は小・中学校、高等学校とも平成21年度以降過去最高である。

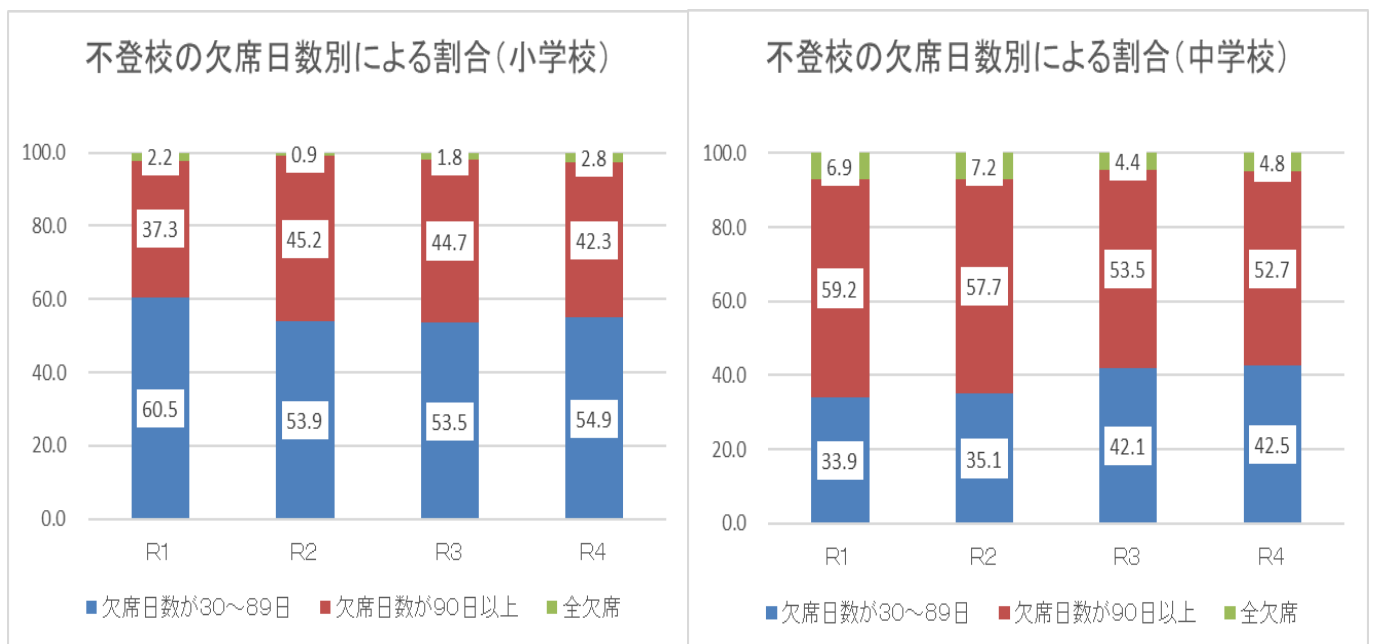
□ 不登校児童生徒数
○ 鳥取県の100人あたりの不登校出現率
■ 全国の100人あたりの不登校出現率

長期欠席

区分	年度	病気	経済的理由	内訳			長期欠席 総数(人)	出現率
				不登校	その他	新型コロナウイルス感染回避		
鳥取県 小学校	令和2年度	88	0	343	76	15	522	1.82
	令和3年度	105	0	400	99	17	621	2.17
	令和4年度	138	0	492	188	42	860	3.04
鳥取県 中学校	令和2年度	119	0	555	110	2	786	5.31
	令和3年度	175	0	653	79	9	916	6.28
	令和4年度	198	0	877	105	22	1202	8.30
全国 小学校	令和2年度	18,538	13	63,351	17,611	14,617	114,130	1.80
	令和3年度	22,307	7	81,498	34,100	42,963	180,875	2.89
	令和4年度	31,955	16	105,112	43,438	16,155	196,676	3.17
全国 中学校	令和2年度	25,888	20	132,785	8,648	6,666	174,007	5.36
	令和3年度	34,652	12	163,442	18,416	16,353	232,875	7.13
	令和4年度	43,642	20	193,936	18,869	7,505	263,972	8.13

※長期欠席とは、「病気」・「経済的理由」・「不登校」・「その他」のすべての欠席を指している。

【不登校の欠席日数別の割合】

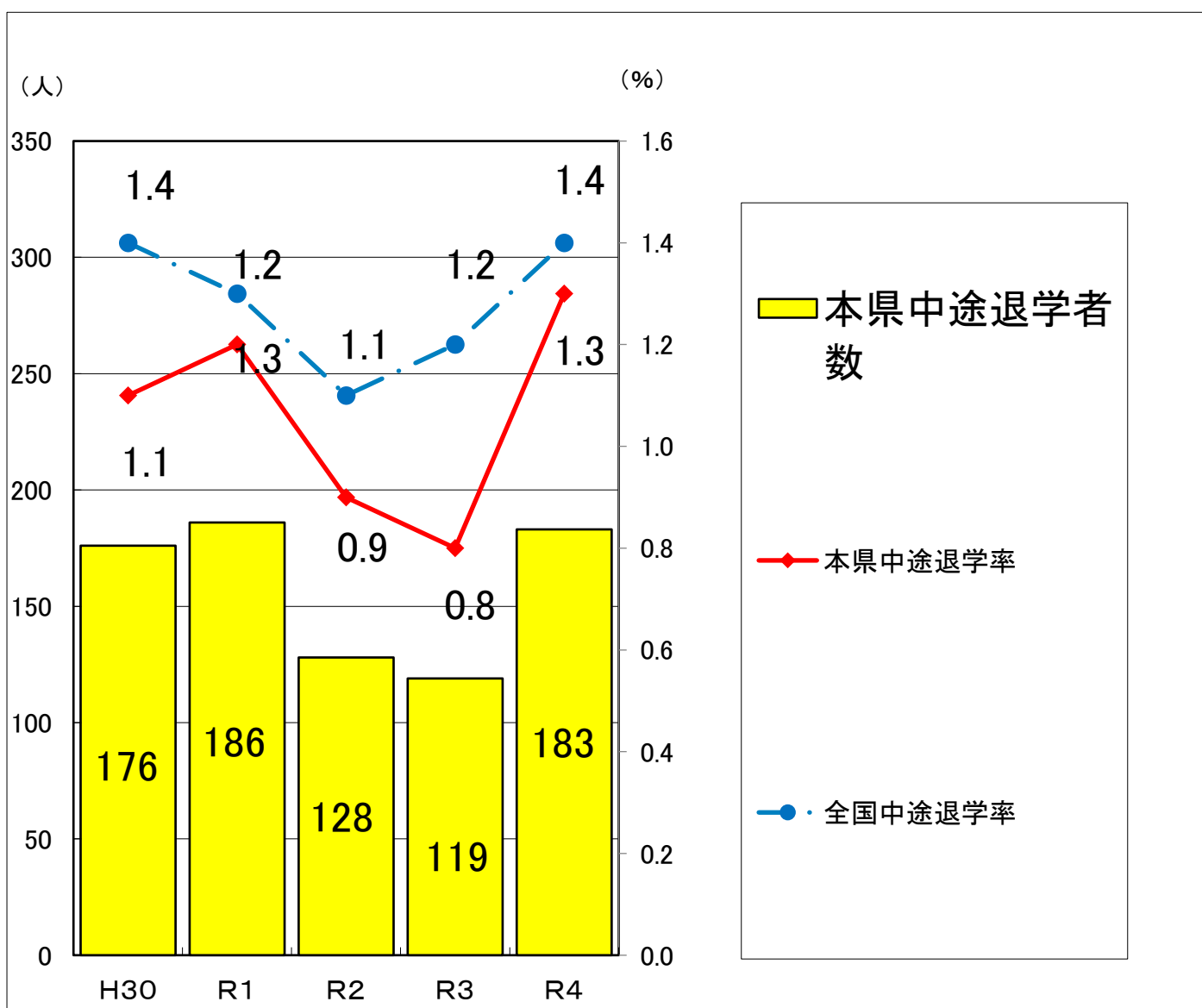


※上記のグラフの「欠席日数が90日以上」の児童生徒数の割合は、全欠席の児童生徒数の割合を含めない。

鳥取県高等学校中途退学者数についての分析

(1)鳥取県国公立高等学校中途退学者数の経年推移

	H30	R1	R2	R3	R4	
本県中途退学者数	176	186	128	119	183	(人)
本県中途退学率	1.1	1.2	0.9	0.8	1.3	(%)
全国中途退学率	1.4	1.3	1.1	1.2	1.4	(%)



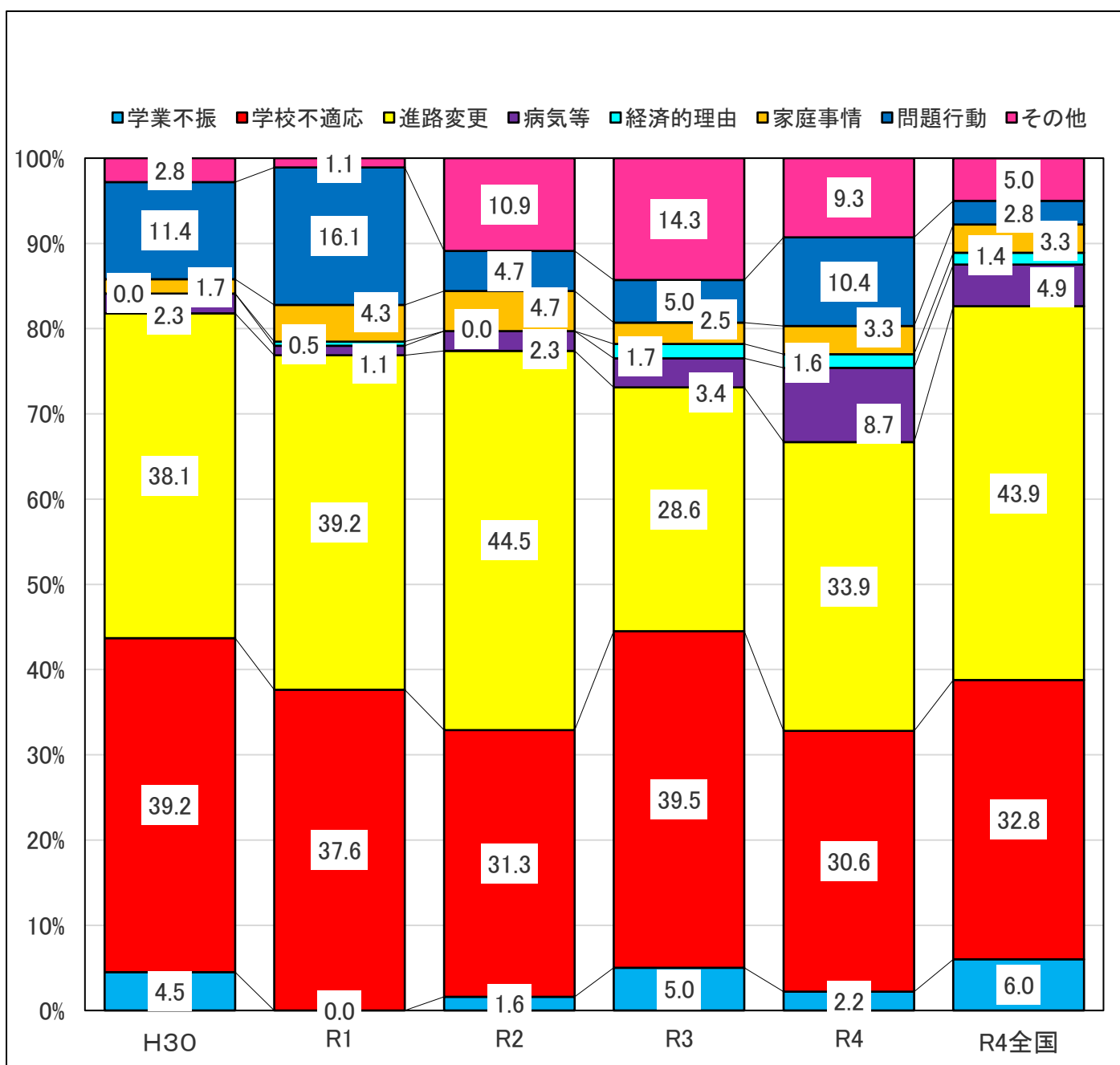
- 本県中途退学率は令和元年度以降減少傾向にあったが、令和4年度は0.5ポイント増加した。全国中途退学率と比較すると、増減の様子は異なるものの各年の中途退学率は0.1～0.4ポイント下回っている。

(2)鳥取県国公立高等学校中途退学理由の経年推移

(%)

	H30	R1	R2	R3	R4	R4 全国
学業不振	4.5	0.0	1.6	5.0	2.2	6.0
学校不適応	39.2	37.6	31.3	39.5	30.6	32.8
進路変更	38.1	39.2	44.5	28.6	33.9	43.9
病気等	2.3	1.1	2.3	3.4	8.7	4.9
経済的理由	0.0	0.5	0.0	1.7	1.6	1.4
家庭事情	1.7	4.3	4.7	2.5	3.3	3.3
問題行動	11.4	16.1	4.7	5.0	10.4	2.8
その他	2.8	1.1	10.9	14.3	9.3	5.0

※R4全国:国公立の数字



○ 中途退学の主な理由として、例年「学校不適応」、「進路変更」の割合が他に比べ大きい。